



empower the **s**ociety
evolution & **s**ustainability

第26期（2024年12月期）第3四半期決算説明資料

2024年11月

株式会社エスネットワークス

■ **第3四半期トピック**

■ **第3四半期業績**

■ **通期業績見通し及び配当予想**

■ **第3四半期トピック**

■ 第3四半期業績

■ 通期業績見通し及び配当予想

1

フェニックス社と資本提携契約を締結

2

戦略投資の体制構築と投資実行

- 2024年9月24日にPhoenix Accounting Global Holdings Pte. Ltd.（以下、フェニックス社）と資本提携契約を締結

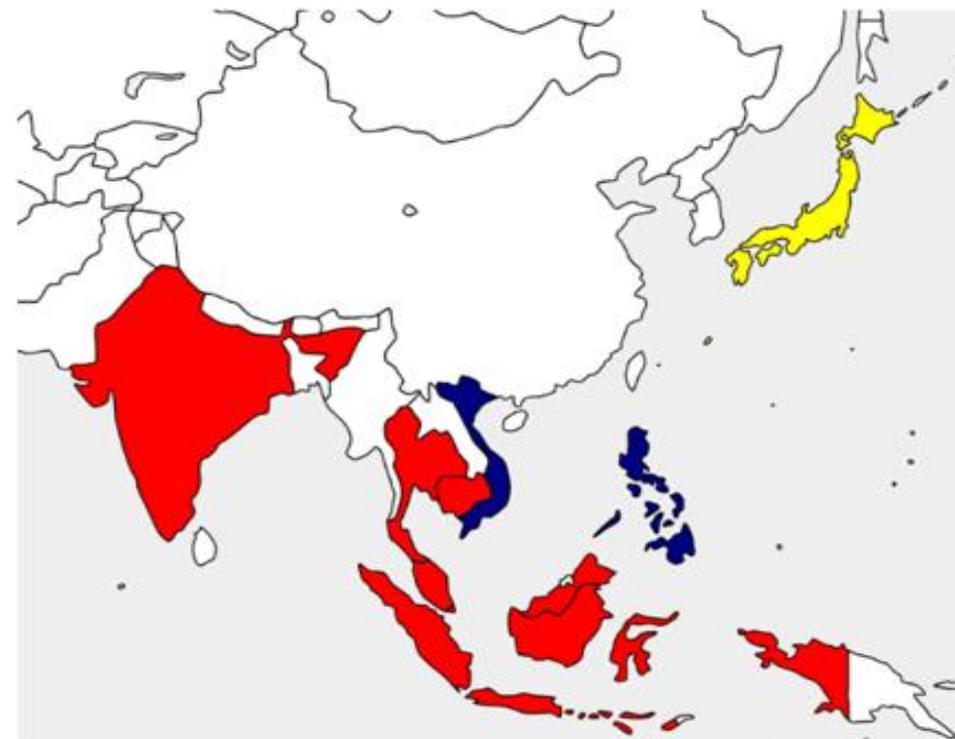
資本提携の目的

フェニックス社は、東南アジアを中心に7か国で各種会計・税務コンサルティング事業を展開しており、資本提携を通じて海外におけるサービス提供エリア拡大を企図。

資本提携先の概要

名称	Phoenix Accounting Global Holdings Pte. Ltd.
所在国	シンガポール
代表者	伊藤哲男、齋藤貴加年、日浦康介
事業内容	会計・税務・経営コンサルティング会社の持株会社
資本金	400,000 USD
設立年月日	2020年2月26日

資本提携後の共同展開拠点



■ フェニックス社拠点国
 ■ 当社拠点国
 ■ 共通拠点国

- 2024年の成長戦略の一つである戦略投資を推進すべくリソースを投下し注力

戦略投資 の目的

- ✓ 周辺事業への投資によりサービスカバレッジを拡大
- ✓ コンサルティング関与先への投資を行うことによりレバレッジの効いた収益構造へ転換

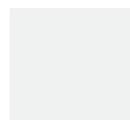


体制構築

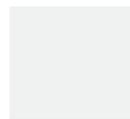
- ✓ 当期に、国内コンサルティング部門から投資管掌部門へコンサルタントが3名異動し、投資案件のソーシングやエグゼキューション活動に注力
- ✓ 約20社程度のMA仲介業者等との継続的なコンタクトを行い常時10件程度の投資案件を検討

Q3の 取り組み状況

- ✓ 2024年9月に、コンサルティング関与先に対してマイノリティー投資を1件実行
- ✓ その他、複数の投資案件においてトップ面談やデューデリジェンス等のプロセスを進行中



第3四半期トピック



第3四半期業績



通期業績見通し及び配当予想

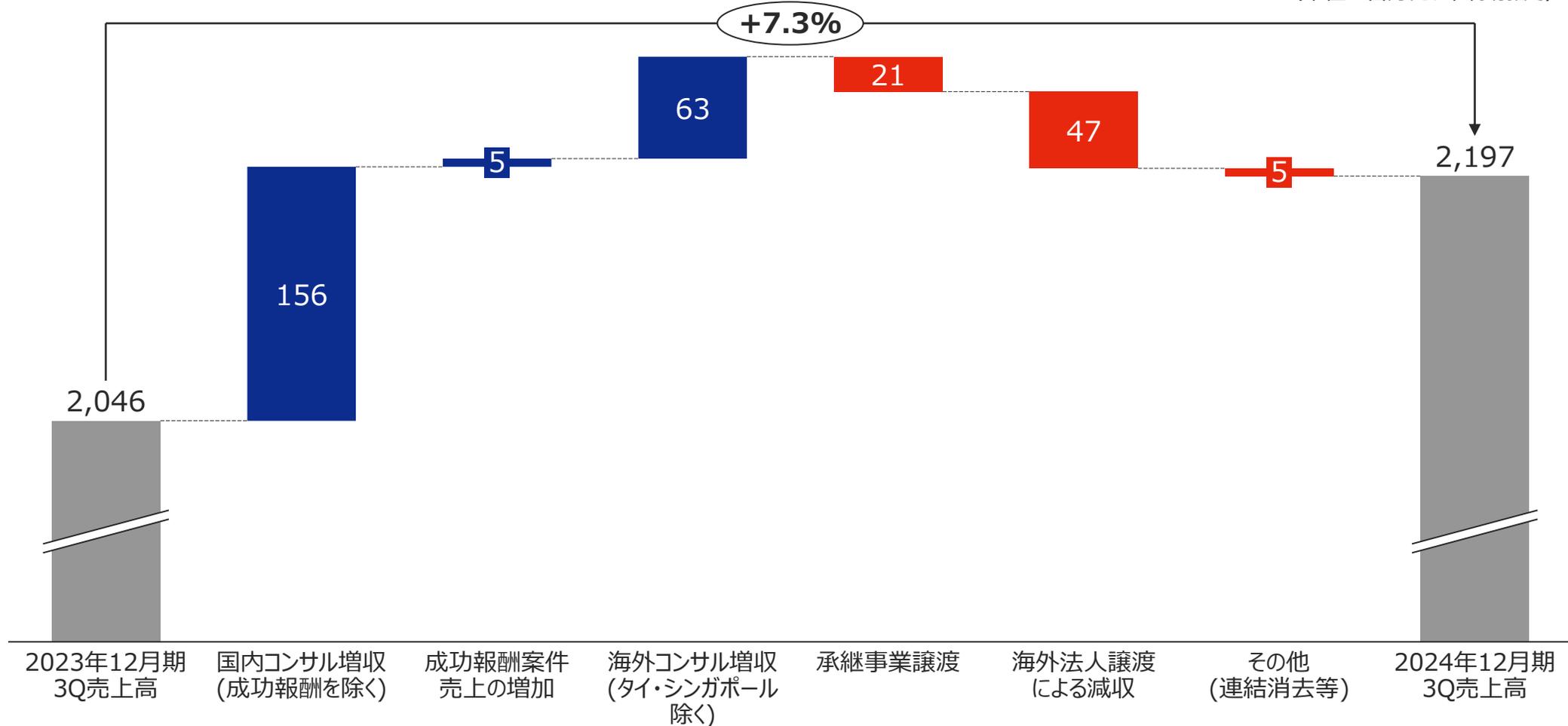
- 売上高は日本国内を中心とした引き合い増加により前年比7.3%増で21.9億円となるも、戦略投資のソーシング・実行や新規サービス開発へ向けた、人員の投入や外注費の発生の影響により、営業利益は前年比4.5%減となった。
- 前3Qにはタイ法人とシンガポール法人（当時子会社）譲渡に伴う特別損失計上の影響などもあり、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比27.1%増の1.7億円で着地。

（単位：百万円、未満切捨て）

	2023/12期 3Q実績	2024/12期 3Q実績	増減	増減率
売上高	2,046	2,197	150	7.3%
営業利益	225	215	▲10	-4.5%
営業利益率	11.0%	9.8%	-1.2%	-
経常利益	229	210	▲18	-8.2%
経常利益率	11.2%	9.6%	-1.6%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	138	176	37	27.1%

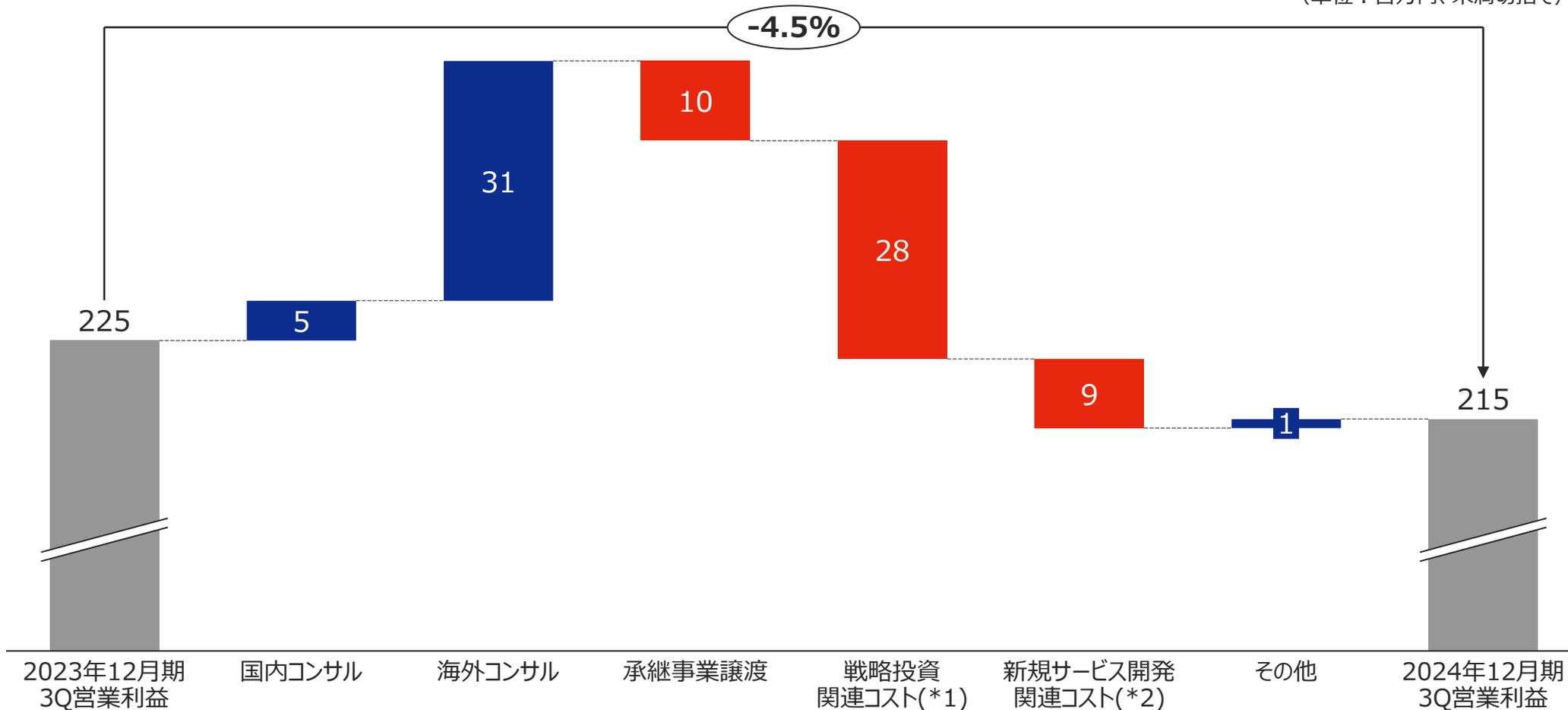
- 2023年7月の海外法人（タイ・シンガポール）譲渡による減収要因があったものの、主に国内コンサルティング好調による増収と、ベトナム・フィリピンの海外コンサルの増収を受けた結果、連結売上高は前年3Q累計比7.3%増。

(単位：百万円、未満切捨て)



- 海外コンサルは増益となった一方で、戦略投資のソーシング・実行や新規サービス開発へ向けた、人員の投入や外注費発生の結果、連結営業利益は前年3Q累計比4.5%減となった。

(単位：百万円、未満切捨て)



*1 戦略投資部門のコンサルタント3名にかかる人件費、及びDD費用等の業務委託費用を集計

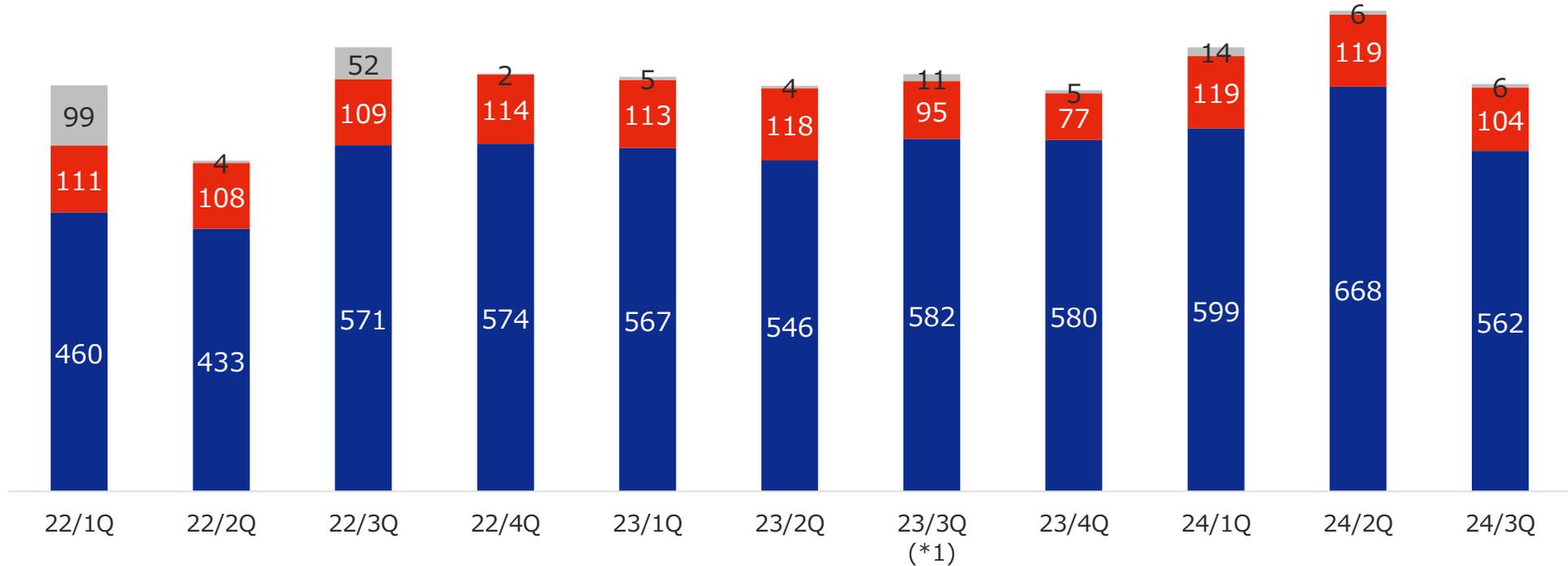
*2 新規サービス開発部門のコンサルタント1名にかかる人件費、及び各種業務委託費用を集計

- 戦略投資のソーシング・実行や新規サービス開発へ向けた人員の投入の結果、第3四半期では国内コンサルを中心に売上はやや減少。

売上高の推移

(単位：百万円、未満切捨て)

■ 国内コンサル ■ 海外進出支援コンサル ■ 国内その他（成功報酬）



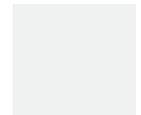
*1 2023年7月にタイ法人とシンガポール法人（当時子会社）を譲渡した影響により、23/3Q以降は当該2社を連結除外している。

*2 上記サービス別売上には、連結修正仕訳等は含んでおらず、連結損益計算書上の売上高とは一致しない。

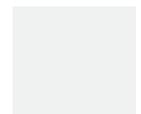
- 2023年12月期の配当支払（123百万円）があったものの、純利益の積み上げ及び自己株式処分により株主資本はやや増加。
- 保有していた投資有価証券の売却や借入金の返済により、固定資産・固定負債ともに減少。

（単位：百万円、未満切捨て）

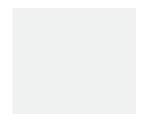
	2023年12月期末 (連結)	2024年3Q末 (連結)	増減額
流動資産	1,576	1,553	▲23
固定資産	641	565	▲76
資産合計	2,218	2,118	▲100
流動負債	595	592	▲3
固定負債	227	92	▲135
負債合計	822	684	▲138
株主資本	1,272	1,352	80
評価・換算差額等	59	18	▲41
新株予約権	3	3	--
非支配株主持分	61	60	▲1
純資産合計	1,395	1,434	39
自己資本比率	60.0%	64.7%	4.7%



第3四半期トピック



第3四半期業績



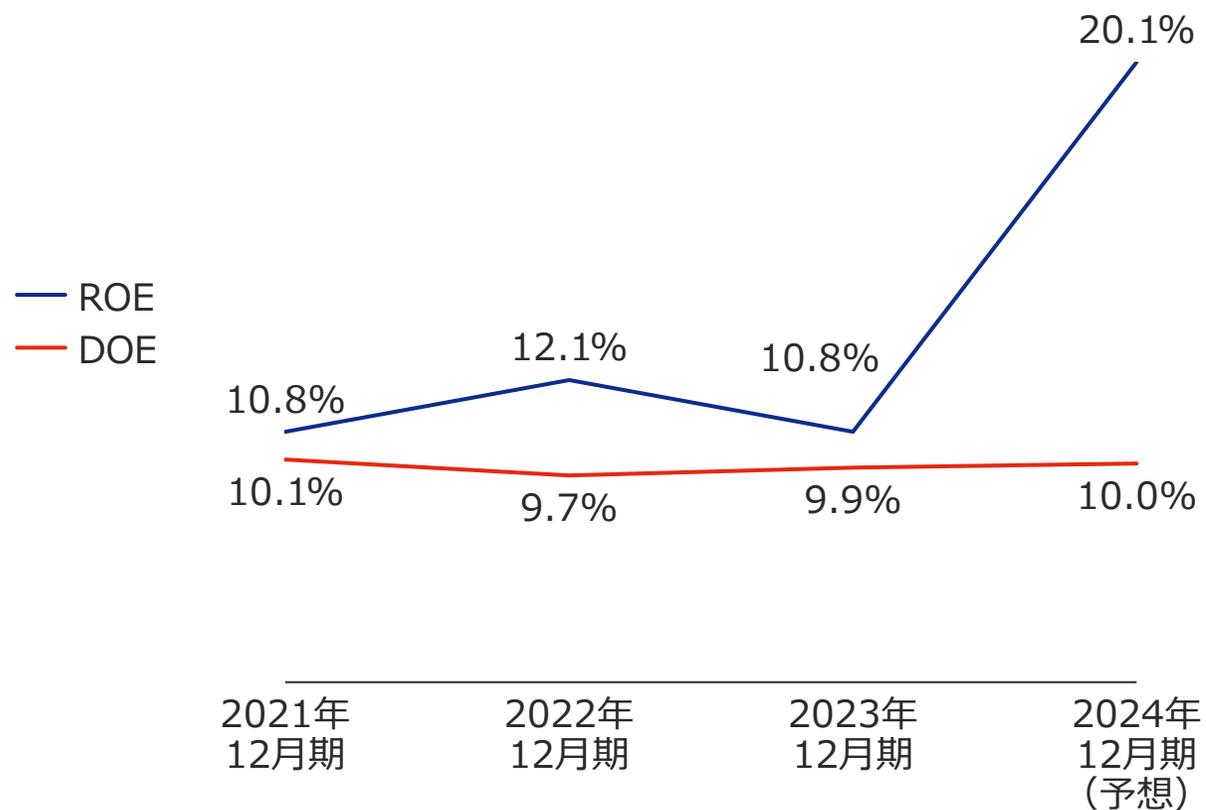
通期業績見通し及び配当予想

- 売上高については、日本国内を中心とした引き合い増加により増収を見込むが、戦略投資のソーシング・実行や新規サービス開発へ向けた、人員の投入や外注費発生、及び第3四半期に実施した事業承継顧問事業の事業譲渡の影響により、営業利益及び経常利益については下振れを見込む。
- 当第4四半期において、投資有価証券の売却による特別利益114百万円の計上を予定していることなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益については上振れを見込む。
- これらの理由により、2024年通期業績予想を以下の通り修正。

	年間業績予想 (修正前)	年間業績予想 (修正後)	差異	差異率
売上高	2,883	2,940	56	2.0%
営業利益	335	302	▲33	▲9.9%
営業利益率	11.6%	10.3%	▲1.3%	—
経常利益	321	296	▲25	▲7.8%
経常利益率	11.1%	10.1%	▲1.1%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	208	280	71	34.3%

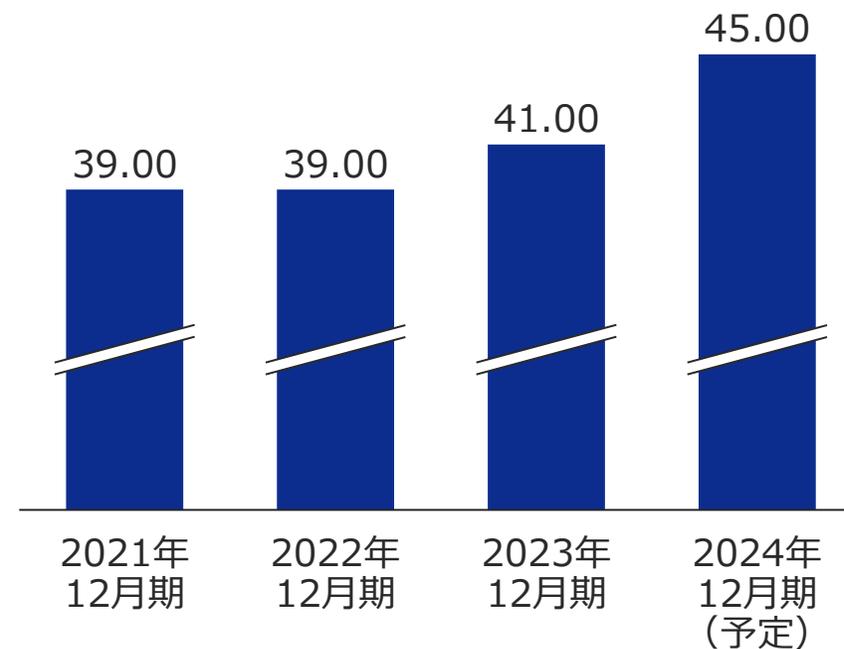
- DOE（連結株主資本配当率）10%を目安として一株当たり配当額を決定。
- 今季の業績予想及び自己株式取得状況を踏まえ、一株当たり45円の配当金を実施予定。

ROE^(*1)とDOE^(*2) 推移



1株当たり年間配当金 推移

単位：円



*1 ROE(%) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均連結自己資本(*3) × 100

*2 DOE(%) = 年間配当総額 ÷ 期中平均連結株主資本 × 100

*3 連結自己資本 = 連結純資産 - 新株予約権 - 非支配株主持分

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは本資料の作成時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。また、このような将来予想に関する記述には、様々なリスクや不確定要素が含まれており、その結果、実際の業績は、予想とは大きく異なる可能性があります。

また、本資料には当社以外の情報も含まれておりますが、当社はこれらの情報の正確性や適切性等について独自の検証を行っておらず、当該情報についてこれらを保証するものではありません。

なお、本資料の権利は当社に属しており、無断での複写、転写、転載、改竄または配布を行わないようお願いいたします。